

平成 22 年度 事業計画

(平成 22 年 4 月 1 日～平成 23 年 3 月 31 日)



公益社団法人日本グラススキー協会

(平成 22 年 5 月 21 日)

<JGSA 事務局>

〒270-0014 千葉県松戸市小金 335 E-309

TEL047-309-7001FAX047-309-7002

www.grass-ski.or.jp info@grass-ski.or.jp

公益社団法人日本グラススキー協会 定款

(目的)第4条 この法人は、わが国におけるグラススキー界を統括し代表する団体として、グラススキーの普及及び振興を図り、もって国民の心身の健全な発達に寄与することを目的とする。

(事業)第5条 この法人は前条の目的を達成するため、次の事業を行う。

(公益目的事業1) グラススキースポーツ普及及び振興

1) 体験会・講習会事業

グラススキーの普及及び振興を目的とし、協会公認インストラクターによる未経験者及び初心者を対象とした体験会、経験者を対象とした講習会を、主催事業及び開催グラススキー場との共催・協力・後援事業として実施。

*主催事業 (6月～8月)

ステップアップ2010 体験会・講習会会場 (ジュニアトレーニング)

会場：九州・中国会場 (サイオトスキー場)

関西・四国会場 (中尾山高原グラススキー場)

関東・甲信越会場 (サンパーク都留グラススキー場)

北海道・東北会場 (七ヶ宿グラススキー場)

*協力事業 埼玉県滑川市武蔵丘陵森林公園 5月～9月 計9日間開催予定

2) グラススキーヤーの技術認定

グラススキーヤーの技術達成目標となる3種の技術認定制度を実施

①ジュニアテスト (ステップアップ2010会場他)

②オフィシャルテスト (ステップアップ2010会場他)

③指導者検定 (長野県 斑尾高原 10月16日 (土) 開催)

3) 指導者資格取得者 (グラススキー指導) 研修会

講師：普及委員及びデモンストレーター

開催予定：中央研修会 サンパーク都留グラススキー場 6月19日 (土)

赤城芝スポーツ 7月上旬

4) グラススキー用具の普及・認定及び施設の認定

①用具認定：JGSA 用具規定に基づく公式用品の認定を行う

②用具の普及：公式メーカーの情報をHPでの発信を行う。

③施設認定 JGSA 施設規定に則った施設公認実施

5) グラススキー広報活動

公式HPでの情報発信及び公開、取材協力・ニュースリリース配信などを実施

6) グラススキーに関する調査研究

内外のグラススキー及びグラススキーの指導方法等に関する調査研究 (研修DVDの配布) の実施

◆事業の財源：事業収益及び会費・補助金・公認料・寄付金収入・雑収入

(公益目的事業 2) グラススキーヤーの育成及び強化

1) 競技規則の制定

競技規則の制定をもって公正な競技会を開催する。

国際スキー連盟国際競技規則を基本に国内の実情（施設環境）に合わせた国内規則を制定

*シニアクラスの長さMAX規定廃止

*ポイント計算方式について レースペナルティの変更

現 状 A級大会 MAX0.00 B級大会 MAX3・6・12

変更後 A級大会 Min0.00 B級大会 Min6

2) 全国大会その他各種競技会の主催（共催）開催、協力、後援

①主催大会

「第 6 回都留市ジャパンジュニアグラススキー大会」（スポーツ拠点づくり推進事業）

会場：山梨県都留市サンパーク都留グラススキー場

日程：8月20日（金）～22日（日）

参加資格：全国8ブロックよりの選手選抜（選考会・クラブ推薦）

ジュニア層の拡大、充実をはかりジュニア選手の目標となる大会として開催

*2011年 FIS チルドレンズキャンプ派遣選考大会とする

「第 26 回全日本グラススキー選手権」：FIS 国際スキー連盟公認申請

「第 17 回高円宮牌グラススキージャパンオープン」（スポーツ振興基金助成事業）

会場：山形県 天元台高原

日程：10月1日～3日 総裁高円宮妃殿下御臨席（10月2日・3日）

参加資格 *当該年度の公認大会に出場し完走した者

*過去の大会参加の実績等から一定の JGSA ポイントを有する者

*講習会やクラブでのトレーニングを積み、一定技術レベルを有すると協会

または所属クラブが認め参加を推薦された者

「第 25 回全日本テクニカル選手権」

会場：長野県 斑尾高原スキー場 日程 10月17日（日）

参加資格 *講習会やクラブでのトレーニングを積み、一定技術レベルを有すると協会

または所属クラブが認め参加を推薦された者

*規定により上位者（有資格者）を JGSA デモンストレーターとして認定する

②公認大会 JGSA（B級）公認大会の開催（スケジュール・ポイント管理）

8月15日（日）サンパーク都留グラススキー大会

公認大会はクラブ主管とし JGSA より TD を派遣及び大会運営費用の一部負担

負担金額は1レース最大5万円までとする。

*その他競技会開催への協力後援

各競技大会・公認大会への計測器他備品の貸し出しを行う

④各競技会場を利用した選手育成及び強化

6月20日（日）ふじてんリゾート

チルドレン・ジュニア強化（含むジュニア世界選手権選考）

3) 競技記録の表彰

各大会（主催（共催）、公認、協力、後援）でのレース結果個別表彰とは別に、シーズン（年間）を通じた活動（国内外の個人及び団体の努力の成果）を評価し、年間最優秀選手（団体）を表彰（表彰状及び記念品授与）

- ◆事業の財源：事業収益及び（独）日本スポーツ振興センター補助金（スポーツ振興基金）並びに会費・補助金・公認料・寄付金収入

（公益目的事業3）国際スキー連盟グラススキー委員会との相互協力

1) 国際大会への選手派遣

- ①チルドレンズキャンプ派遣（第5回都留市ジャパングジュニア大会にて選手選考）

開催地：イタリア 日程：7月12日（月）～17日（土）

男子 萩生田博之（DLWH）女子 尾島詩織（サンパーク都留）監督1名を派遣

- ②国際スキー連盟公認ジュニア世界選手権派遣

開催地：イラン 日程：7月31日（土）～8月3日（火）

代表選手選考規程を基本に6月20日（日）開催強化事業より選手選考

（開催国の情勢調査にて派遣検討）

- ③世界選手権派遣（今年度開催無）

- ④国際スキー連盟公認大会派遣事業

FIS登録並びに（国際スキー連盟）公認大会への参加申込手続きを含む参加選手へ支援。

ナショナルチームの編成（シニア・ジュニア・チルドレン）

2) 国際スキー連盟グラススキー委員会への委員派遣及び競技運営役員派遣

FIS（国際スキー連盟）グラススキー委員会への委員派遣実施

国際担当理事（H21年～盛田英夫副会長）

国際資格（TD資格）の取得及び研修派遣実施

- ◆事業の財源：事業収益（海外登録料）及び会費・補助金・公認料・寄付金収入

4 その他この法人の目的を達するために必要な事業

- ①所管官庁指導のもと、各種法令を順守する
- ②関係諸団体との関係をより密接に維持する
- ③新規協賛企業・賛助会員の獲得を目指す
- ④組織について（専門委員H22年～）

委員会	責任者	委員
普及	豊野 智広 飛鳥井匠哉	渡部 秀文（七ヶ宿 GSC） 矢野 誠（都留 GSC） 吉永 博人（九州 R） 飯塚 俊直（DLWH） 松原 正和（中尾山）
		デモンストレーター 新谷 起世（DLWH） 木川 将軍（都留 GSC） 八島 徹也（七ヶ宿 GSC） 中野 聡（DLWH） 芦田 直哉（斑尾 GSC）
育成強化	根岸 一之	松本 正男（七ヶ宿 GSC） 高橋 浩之（七ヶ宿 GSC） 中澤 謙一（天元台 GSC） 田邊 聡一（都留 GSC） 矢野 誠（都留 GSC） 飛鳥井匠哉（DLWH） 中野 聡（DLWH） 根本 章（JAPAN F）

本事業計画書は原本と相違ありません
 公益社団法人 日本グラススキー協会
 代表理事 小林英夫